

教科	数 学	科 目	数学探究	単位数	2
学 年	3 年	類 型	情報ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	数学探究テキスト(松山商業高等学校)				
副教材(出版社)					
授業の概要	数と式、整数の性質、2次関数、図形と計量、場合の数と確率、データの分析で、1・2年生の全復習から応用まで学習する。				
授業の目標	1・2年次に既習した内容について総復習をするとともに、基礎的な知識や技能を身に付ける。また、それらを的確に応用する能力を伸ばし、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようになる。				
年 間 学 習 計 画	学習内容(単元・項目)		学 習 目 標		
	1 学 期	1章 1節 数と式 2節 整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・整式についての加法、減法、乗法の計算及び展開公式・因数分解公式を自在に使いこなせるようになる。不等式の性質を理解すると共に、1次不等式・2次不等式の解き方を修得する。 ・最大公約数、最小公倍数の性質から互除法の使い方を復習する。さらに、不定方程式の解を見つけられるようにする。n進数の性質を復習し、応用問題にチャレンジする。 		
	2 学 期	2章 2次関数 3章 図形の計量と図形の性質 1節 三角比 4章 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフを式変形し、2次関数の最大・最小を理解し、具体的な問題に応用できるようになる。2次関数のグラフと2次方程式の関係を理解し、2次方程式の解を求める様々な方法についての技能を修得すると共に、2次不等式を解けるようになる。 ・座標を用いた鈍角の三角比の求め方を理解する。一般の三角形の辺と角との間に成立する三角形の面積の公式と、正弦定理、余弦定理を理解し、活用できるようになる。 ・確率の基本定理を理解し、応用できるようになる。特に具体例を通して、条件つき確率と独立試行の定理の考え方を理解する。 		
	3 学 期	5章 データの分析 1節 データの整理と分析 2節 データの相関	<ul style="list-style-type: none"> ・データを整理する必要性を理解し、度数分布表、ヒストグラム、相対度数、箱ひげ図、相関係数を知る。 		
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	
	関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できるか。	事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えられるか。	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決できるか。	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けているか。	
備 考	4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				